野田市老人ホーム及び老人デイサービスセンター指定管理者候補者選定委員会（フォローアップ）会議録概要

開催日時　　令和８年２月１２日（木）午後３時４５分から午後４時３０分まで
開催場所　　野田市役所４階　職員控室
出席委員　　総務部長（委員長）、企画調整課長（副委員長）（代理出席）、行政管理課長、管財課長
欠席委員　　福祉部長
事 務 局　　介護支援課、行政管理課

１　開会
＜委員長から開会の言葉＞

２　議事
⑴　令和７年度（４月～１２月）野田市楽寿園業務報告書及び令和８年度野田市楽寿園業務計画書の審査について
＜事務局から令和７年度（４月～１２月）野田市楽寿園業務報告書及び令和８年度野田市楽寿園業務計画書について一括して説明＞

＜審議の概要＞
○　施設利用について、男女別の居室配置において工夫している点はあるか。
→　２階の一部が養護老人ホームのエリアとなっており、その空き部屋を男女の入所状況に合わせて柔軟に活用することで、特別養護老人ホーム入所希望者の性別による受入れの制約が生じないように対応している。

○　収支状況について、利用料金収入は計画どおりに推移しているとのことだが、単価改定による収入増などの影響はあるか。
→　単価上昇による影響は一定程度あると考えられるが、収支状況はおおむね計画どおり推移していると認識している。

○　人員配置について、介護職員の配置が計画を下回っているが、運営に支障はないか。
→　法定の配置基準は満たしており、運営に支障はない。なお、計画に基づいた配置を行うため職員の募集を継続しているが、現時点では計画どおりの採用には至っていない。

○　人員配置計画について、人員体制が過剰ではないか。
→　人員体制は適正であり、過剰ではない。

○　現場確認の状況について伺う。
→　担当職員が月に１回程度訪問し、適正に管理運営されていることを確認している。

＜審議の結果＞
令和７年度（４月～１２月）野田市楽寿園業務報告書及び令和８年度野田市楽寿園業務計画書について承認

⑵　令和７年度（４月～１２月）野田市岩木小学校老人デイサービスセンター業務報告書及び令和８年度野田市岩木小学校老人デイサービスセンター業務計画書の審査について
＜事務局から令和７年度（４月～１２月）野田市岩木小学校老人デイサービスセンター業務報告書及び令和８年度野田市岩木小学校老人デイサービスセンター業務計画書について一括して説明＞

＜審議の概要＞
○　人員配置について、看護職員の配置を３名体制から２名体制に変更している理由は。
→　職員一人当たりの勤務時間を長く設定したためである。具体的には、事業計画上は、３名で勤務時間を週当たり３３時間としいたが、実際は２名で週当たり３４時間としており、人数は減少しているが必要な勤務時間数は確保している。

○　人員配置計画について、介護職員の常勤換算が５．４人となっているが、過剰配置ではないか。
→　利用者数２５人を想定した配置となっており、過剰とは認識していない。
なお、曜日により利用者数が少ない場合は、職員数を調整する運用としている。

○　利用状況により職員に余剰が生じた場合に、法人内での人材の活用方法等について把握しているか。
→　他の施設において職員の急な欠員等が生じた場合に、当該施設へ職員を派遣する体制をとっている。

○　職員の採用難や利用者数の伸び悩みが予見される中、例えばケアマネジャーと連携し、利用者の利用曜日を変更するなどして平準化を図ることはできないか。
→　利用曜日の偏りについては、入浴希望者が多いため週初めや週末に集中する傾向にあることから、利用者の希望を変更して受け入れることは困難であると考えている。

＜審議の結果＞

令和７年度（４月～１２月）野田市岩木小学校老人デイサービスセンター業務報告書及び令和８年度野田市岩木小学校老人デイサービスセンター業務計画書について承認

３　閉会